

動画セミナーのご案内

介護職員向け

みんなで取り組む虐待事故防止対策

－虐待の原因を改善する取り組み－

虐待事故が起きるとその職員のモラルが問題と考えられてしまいますが、そうではありません。虐待事故の半分以上が、真面目でモラルの高い職員の身に起きています。夜勤帯に認知症利用者の暴力行為を鎮めようとして、虐待行為をしてしまった職員がいました。彼はまじめで責任感が強かったため、他の職員を呼ばずに一人で対応しようとして理性を失ってしまったのです。このような、職員を責められないような虐待事故が全体の半数を超えるのですから、みんなで協力して対策を立てて取り組まなければならないのです。本セミナーでは発生している虐待事故の原因を徹底分析し、有効な防止対策を一緒に考えます。

介護職員向け

施設で取り組む虐待事故防止対策の概要

■研修の目的

虐待事故は全ての職員の身に起きる可能性があることを理解します。虐待事故の原因は利用者側の原因、介護職員側の原因、施設環境の原因と3種類に分けられますが、その内容は多岐に亘ります。これらの原因を分析して、改善することで虐待を防ぐ手法を学びます。虐待事故は介護職員にとって、他人ごとではありません。自分の身を守るための取り組みであることを学んでください。

《1》虐待事故防止活動の考え方

- ・虐待行為の罰則
- ・虐待事故の原因はモラルの低さではない
- ・みんなで取り組む虐待事故防止活動の考え方

《2》虐待事故の原因分析

- ・利用者側の原因「生活に適さない環境」など
- ・介護職員側の原因「認知症利用者への対応力」
- ・職場環境の原因「建物構造や設備」など

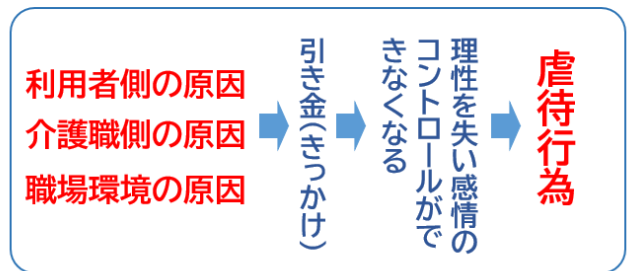
《3》虐待事故防止の取り組み

- ・虐待防止の取り組み「利用者の生活環境改善」
- ・虐待防止の取り組み「職員の対応力の向上」
- ・虐待防止の取り組み「職場の環境改善」

講師プロフィール

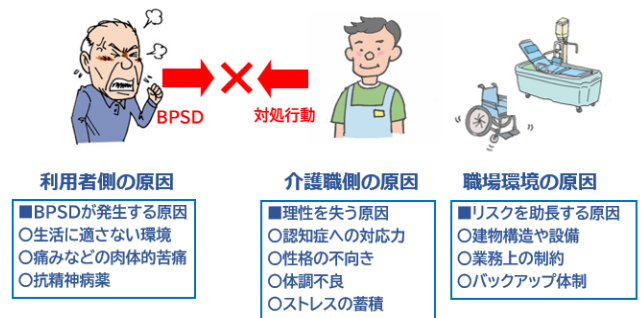
山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

●虐待事故の原因はモラルの低さではない



虐待事故全体の60%

●3つの虐待事故の原因



動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 mail:soudan@nanasha.co.jp